



研究所

明治学院大学 社会学部 附属研究所

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 TEL03-5421-5204・5205

32号

だより

メールアドレス issw@soc.meijigakuin.ac.jp ホームページ <http://soc.meijigakuin.ac.jp/fuzoku/>

contents

- 1 1 所長ごあいさつ
社会学部附属研究所 所長
久保 美紀
- 2 2 調査・研究部門
- 3 3 相談・研究部門
- 4 4 学内学会部門
- 5 5 市民講座報告 / 研修会案内
- 6 6 2018年度社会学部附属研究所
プロジェクトの紹介
- 7 7 2018年度社会学部附属研究所
スタッフの紹介

1 本年4月に研究所所長を拝命し、周囲の心配をよそに、どうあっても時は流れていき、早4カ月が過ぎようとしています。就任にあたって、抱負を述べるなどという大それたことはできず、心もとない限りですが、ご支援をお願いいたします。

研究所のルーツは、1956年に開設された「明治学院大学児童相談所」にあり、その後1962年に設置された「家庭福祉研究所」が1970年に改組され、現在の社会学部附属研究所となり、発展してきました。時代とともに、そして、港区という地域とともにあった研究所は、社会状況が生み出す諸課題に取り組み、研究と実践を循環させながら活動を展開してきました。今夏、所内のプレイルームの改修工事が行われ、秋には多目的な空間になる予定です。私の手元に、いつごろのものか不明ですが、現在の「相談・研究部門」作成のリーフレットがあり、それには、「児童・家

庭福祉相談のご案内」とのメッセージが記されています。プレイルームの改修は、研究所の活動のあらたな展開を示唆しており、研究所がこれからどのような歴史を刻むことになるか、期待が膨らみます。

さて、近年「8050（はちまるごーまる）問題」と称される事象が、社会的課題としてクローズアップされています。それは、80代の親と50代の単身無業の子どもが暮らす世帯が、経済的困難に陥り、外界との接点を失い、支援につながらないまま孤立してしまう状況を指しています。そのなかには、親の介護のために離職を余儀なくされ無職になった子どもが、介護と経済的困難という課題を抱える場合がある一方で、特徴的に取り上げられるのが、50代の子どもがひきこもり状態にあり、80代の親がその子どもの世話をしているということです。従来、

(中面へ)

5 市民講座報告 / 研修会案内

2017年度も、「社会的孤立」の課題に取り組む担い手のための「地域創り担い手学習会」を開催しました。メインテーマ「地域の多様な家族が孤立しないために私たちができること」の下、第1回「セクシュアル・マイノリティの暮らしの困りごと～まずは知ることから～」、第2回「ひきこもる若者 / オトナの困りごと～多様なアプローチを手がかりに～」のテーマでした。第1回は、遠藤まめたさん（「やっぱ愛ダホ！idaho-net」代表）を迎え、7月12日（水）に開催、50名の参加を得ました。高校生の参加もあり、若い人たちの関心の高さが窺えました。第2回は、多様なアプローチを実践する4団体（NPO法人ピアサポートネットしづや石川隆博さん、NPO法人教育サポートセンターNIRE 中塚史行さん、公益社団法人青少年健康センター倉光洋平さん、しんじゅく若者サポートステーション榎山清子さん）を迎え、11月29日（水）に開催、48名の参加を得ました。様々な切り口の積み重ねられた実践を学ぶ貴重な機会となりました。

2017年度の「港区地域こぞってネットワーク会議（6月23日（金）開催）」と「港区地域こぞって子育て懇談会（1月27日（土）開催）」は、港区立子ども家庭支援センターと一般社団法人みなとこぞってネットワーク共催の2回目。相談・研究部門は後方支援として、企画 / 運営に協力しました。これまでになく乳幼児保護者の参加多数の懇談会となりました。報告書をご希望の方は社会学部附属研究所までご連絡ください。



▲ 2017年度第2回地域創り担い手学習会

「第32回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会」

総合テーマ

「ソーシャルワーカーの成長に向けて、共に歩むグループスーパービジョン」

日時：2018年10月20日（土）
10:00～16:30

内容：

- 基調講演（10:00～12:00）
講師：山崎美貴子
（本学名誉教授 / 元神奈川
県立保健福祉大学学長）
- ワークショップ（13:00～16:00）
- ネットワーク懇親会
（16:00～16:30）

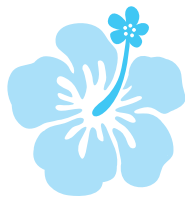
会場：明治学院大学白金キャンパス

● 連絡先

明治学院大学社会学部附属研究所
〒108-8636 港区白金台 1-2-37
Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp
TEL 03-5421-5204・5205
FAX 03-5421-5205



▲ 2017年度社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会



6 2018年度社会学部附属研究所プロジェクトの紹介

■ 一般プロジェクト

- 宇宙倫理学の基礎研究
（代表 稲葉振一郎）
- 歴史社会的日本研究の国際的対話
Trans-Pacific Workshop を拠点として
（代表 石原 俊）
- 福祉的労働機会の提供団体に対する
組織特性と効果についての組織社会的
研究
（代表 米澤 旦）
- 福島原発事故避難者の帰還について
考える（Ⅱ）一避難者の生活課題の
分析を通して一
（代表 和気康太）
- 地域福祉計画における「地域福祉力」
の評価に関する研究
（代表 榊原美樹）

■ 特別推進プロジェクト

内なる国際化に向けた生活保障システム
の再編



7 2018年度社会学部附属研究所スタッフの紹介

所長	久保 美紀
調査・研究部門主任	稲葉振一郎
相談・研究部門主任	明石留美子
学内学会部門主任	石原 英樹
所員	浅川 達人
所員	八木原律子
所員	石原 俊
所員	三輪 清子
所員	安井 大輔
所員	高倉 誠一
所員	清水 浩一
研究調査員（調査・研究部門）	阿部貴美子
ソーシャルワーカー（相談・研究部門）	角田 慰子
副手	平野 幸子
教学補佐	高橋 由加
学内学会部門事務担当	込宮美沙子